



緑地・農地利用
Biosolid utilization for agriculture and greenery



炭化
Carbonization

乾燥
Drying

焼却
Incineration

焼成
Sintering

乾燥汚泥・コンポスト
Dried and composted sludge



提供：札幌市
Sapporo City

建設資材化利用
Biosolid utilization for construction materials

乾燥
Drying

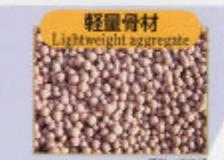
●乾燥技術 Drying technology
脱水ケーキ等の乾燥には、乾燥による処理の減容化、負荷を減らすという目的の他、溶融等の工程の一部にもなっています。
Drying dewatered sludge cake etc. aims at reducing sludge volume and loads of treatment. Drying is also one process of melting system.

焼却
Incineration

焼却灰
Incinerated ash

溶融
Melting

スラグ
Slag



●焼成技術
Sintering technology
焼却灰を成形して約1,000°C程度で焼成し、製品化します。
Incinerated ash is molded and fired at a temperature of about 1000°C to manufacture products.

下水道は「リサイクル社会の核」になります。
Sewage works become "a core of recycling society"

大量生産・大量消費・大量廃棄を基本とする近年社会は、地球温暖化や有害物質による深刻な環境破壊や、化石燃料や天然資源の枯渇を招いています。この解決には、再利用・再資源を前提としたリサイクル社会の建設が必要で、下水汚泥の資源化により、下水道は「リサイクル社会の核」を担うことになります。

Modern society based on mass production and consumption as well as disposal of large amount of waste invites troubles such as global warming, serious destruction of environment caused by hazardous wastes, and depletion of fossil fuel and natural resources. To solve these problems, we need to build recycling society to carry on the reuse and recycling of the resources. The sewage works will play an important role of "a core of recycling society" with growth in biosolid utilization as resources.

住宅・建築物に係る廃棄物・リサイクル対策

住宅金融公庫における適正な解体処理、リサイクル資材を活用した住宅に対する優遇措置

- ・ 民間の住宅の適正な解体・処理の普及を促進するため、マニフェストの提出等を条件に割増融資を実施。(150万円/戸)
- ・ 一定量のリサイクル資材を利用した住宅で、高い居住性、安全性等を有するものに対し、200万円の割増融資(高規格住宅工事(環境配慮型))を実施

日本政策投資銀行におけるリサイクル資材を活用した建築物に対する優遇措置
リサイクル資材の活用を推進するため、リサイクル資材を利用した建築物に対し、低利融資を実施。

住宅金融公庫融資における一定の耐久性の要件化

新築住宅への融資において、一定の耐久性を要件化するとともに構造区分に拘わらず償還期間を35年に一本化することにより、耐久性の優れた良質な住宅ストック形成を促進。

住宅産業構造改革事業による建築系廃棄物の再資源化の推進

地方公共団体等が行う建築系廃棄物のリサイクル推進のための普及・啓発活動、モデル解体工事、技術開発等を住宅産業構造改革事業の補助対象事業に追加し、建築系廃棄物のリサイクル率の向上等を図る。

公営住宅リサイクルプロジェクト

公営住宅において先導的に廃棄物のリサイクルを推進するため、建替事業等を通じて廃棄物発生予測に基づく的確な積算、リサイクルルート指定、リサイクル資材の導入等を行うモデルプロジェクトを実施。(平成12年度～)

住宅品質確保促進法に基づく住宅性能表示

住宅の品質確保の促進等に関する法律に基づく住宅性能表示制度において、建築系廃棄物の発生抑制等の観点から「劣化対策等級」、「維持管理対策等級」等を性能表示事項として設定。

SI住宅に係る技術開発

環境・資源問題に対処しつつ、21世紀を通して良質なストックとして長期に活用しうる集合住宅の整備の促進のため、総合技術開発プロジェクト「長期耐用都市型集合住宅の建設・再生技術の開発」において、スケルトン住宅等の長期耐用型の新たな都市型集合住宅の建設・供給・改良技術及び既存ストックの長寿命化技術を開発(平成9～13年度)。平成14年度以降、調査の成果を踏まえてSI

住宅の普及を図る。

また、都市基盤整備公団においては公団型スケルトン住宅のモデル建設に着手している。

木質系廃棄物発生抑制技術の開発（総合技術開発プロジェクト「循環型社会及び安全な環境の形成のための建築・都市基盤整備技術の開発」において実施）

木造住宅等の解体時等における廃棄物の発生抑制について設計・計画段階で配慮した資源循環型木造構工法の開発、建築材料及び部材の合理的な再資源化技術の開発を行うとともに、技術普及のために必要な木造建築物の環境負荷評価ツール、廃棄物の発生を抑制するための技術・政策を検証するための技術資料等の作成を行う。（平成12～14年度）